

第 176 号 発行日 平成 23 年 9 月 2 日

合格通信

今
月
の
名
言

成果をあげる人は、能力、関心、知識、気性、性格、仕事の方法において多様である。あらゆることにおいて千差万別である。共通点は、行うべきことを行っているだけである。

- P. F. ドラッガー

これは、塾生のみなさんと、特進スクールを訪れてくれた、小中高校生の皆さんとお問い合わせいただいたお父さん、お母さんに向けて、勉強法や受験に役立つ話題をお届けする情報誌です。

名曲喫茶 最終回 仙台「ウィーン」篇



約 10 年間の東京生活から引き上げてからは、休日など行くところがなく困りました。

仙台に名曲喫茶があるのかというと、かつて裁判所近くに「田園」というのがあり、昭和 40 年代初めごろまではよく満席になったそうです。また佐伯一麦さんの著書「読むクラシック」の中に「無伴奏」という名曲喫茶があったことが書かれています。小池真理子さんの著書に「無伴奏」という作品があり、この喫茶店が題名となっています。これらの喫茶店は昭和 50 年代半ばごろには消滅しており、名前しか知りません。しかし、平成 2 年ごろに広瀬通りのビルの 2 階に「ウィーン」というのが在ったのです。

ここは 12 時からレーザーディスクのコンサートがありました。椅子やテーブルも凝ったもので内装なども高級感あるものでした。コーヒー一杯ごとに集めると**必ずウィーンに行ける**という補助

券をくれるのですが、1 年以内に 200 枚集めると行けるというもので、**「そりゃ無理だろ。」**

しかしここもほどなく平成 3 年ごろ閉店し、その後外観のド派手なカラオケマンモスになっていました。この派手さはその後、街の景観を損なうとかで、新聞にもとりあげられるという事態に発展しました。

・・・名曲喫茶篇ネタ切れです。今回は最終回です。